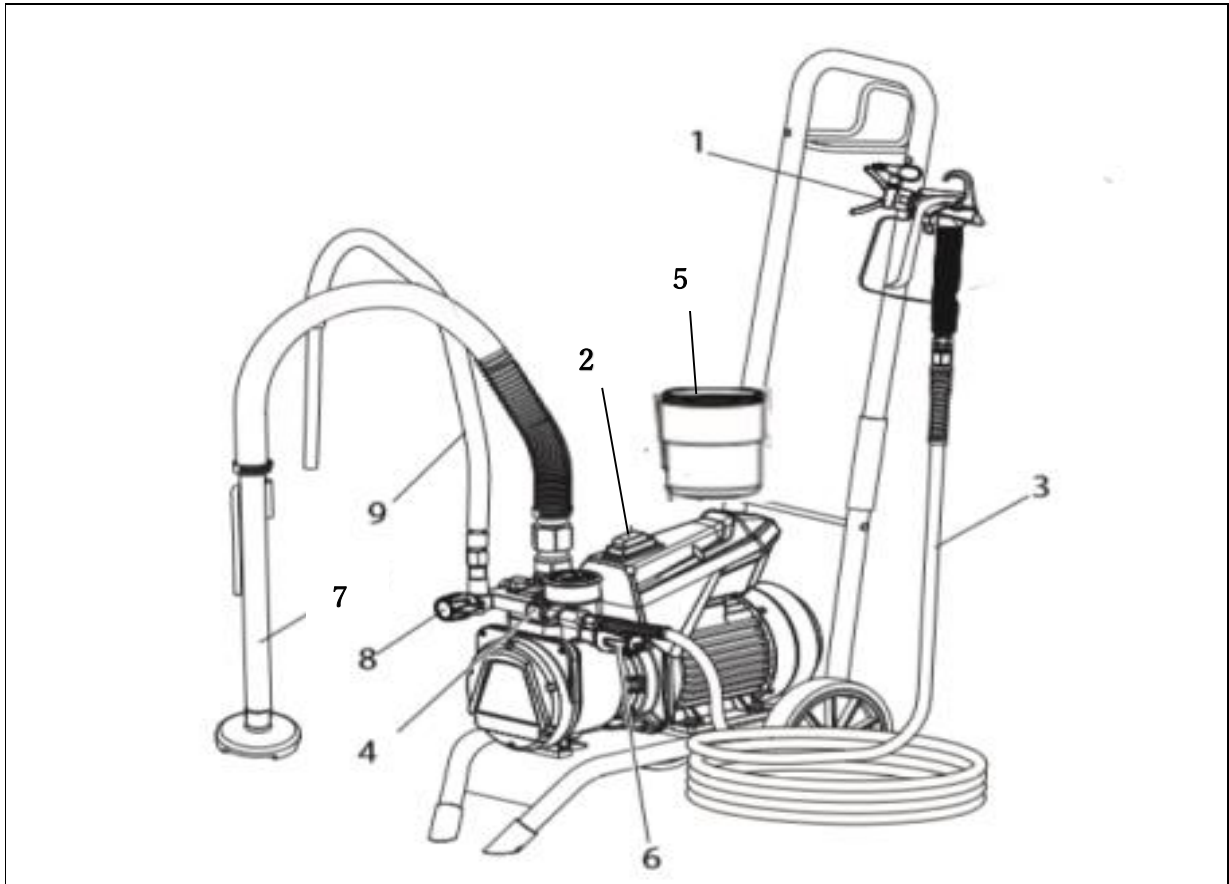




トラブルシューティング

ダイヤフラムエアレス編

日本ワグナー・スプレーテック株式会社

2019.11



- | | |
|--------------|---|
| 1 エアレスガン | ・・・先端にノズルチップを取り付け、吹付作業 ON、OFF |
| 2 電源スイッチ | ・・・モーターの始動、停止 |
| 3 塗料ホース | ・・・本体からエアレスガンまで塗料を送るホース |
| 4 圧力計 | ・・・吐出圧力の表示 |
| 5 フィルターコンテナ | ・・・本体移動時のフィルターセットを収納、塗料漏れ防止 |
| 6 圧力調整弁 | ・・・吹付圧力の調整 |
| 7 フィルターセット | ・・・塗料吸い上げ時のこし網 |
| 8 リリーフバルブ | ・・・エア抜き  、吹付  の切り替え |
| 9 リターンホースセット | ・・・エア抜き時の吐出 |

Q1 スイッチが入らない、モーターが始動しない

① コンセントに 100V がきていない場合スイッチが入りません。ほかの電動工具で試して下さい。

② 線径が細く、長い延長コードを使用していませんか？

機械の電源コードを直接コンセントに繋いで下さい。



※延長コードを使用する場合、線径 3.5mm、20A 以上の物を使って下さい。

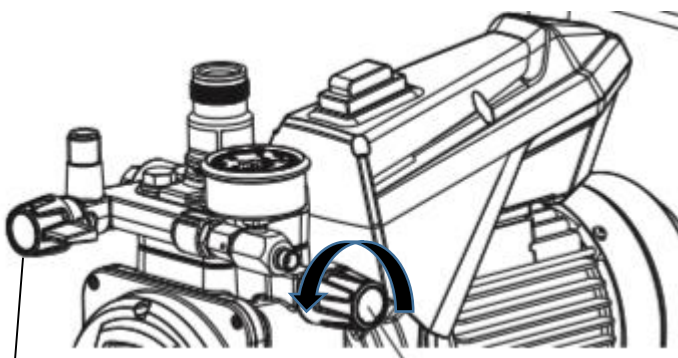
③ タコ足配線になっていませんか？他の電動工具と同時に使うと電圧が

ドロップして始動しない事があります。

③ ポンプに圧力が残っていませんか？

作業の中断時にモーターのスイッチだけを切って、エアレスガンから圧力を逃がさないままになっていると始動しない事があります。


リリースバルブを吹付  から循環  に切替えて、圧力調整弁も左へ 2~3 回廻してスイッチを入れて下さい。



リリースバルブ循環  圧力調整弁

エアー抜き

Q2 モーターは始動するが、「エア抜き」できない

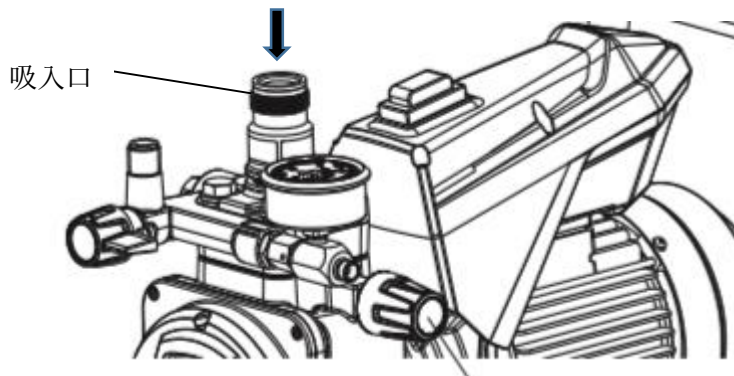
① リリーフバルブは、循環  になっていますか？

② 圧力調整弁を右に廻しましたか？

(モータースイッチを入れてもすぐには、始動しません)

③ 吸入弁・吐出弁が固着していませんか？


塗料吸入口のインレットバルブを上から押して下さい。



④ 吸入口から吸い込む音が聞こえませんか？

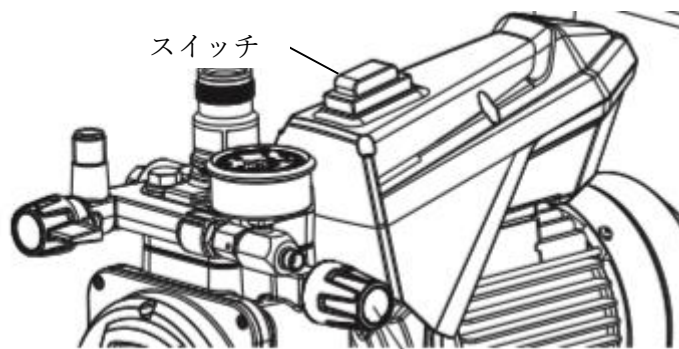
スイッチを ON にし、本機を始動させます。

圧力調整ノブを反時計回りに3回転廻します。

リリーフバルブを循環  にします。油圧システムのエア抜きが行われます。

塗装機の電源を2~3分間入れたままにします。圧力調整ノブを時計回りいっぱい廻しま

す。音が聞こえてこない場合は、上記の手順を繰り返して下さい。



圧力調整


⑤ 油圧オイルは適量ですか？

(表1参照)

⑥ ①~⑤を行っても「エア抜き」しない場合は、吸入弁に異物(ゴミ)が詰まり、前の作業での洗浄不足による固着が考えられます。

a. 吸入ホースを外し、吸入口に溶剤(シンナー)を入れ、インレットバルブを上から押して溶剤を流し込みます。

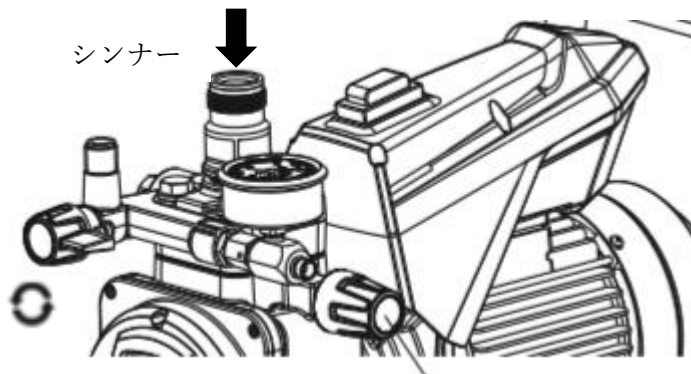
b. モータースイッチを入れ、圧力調整を時計回りに廻します。

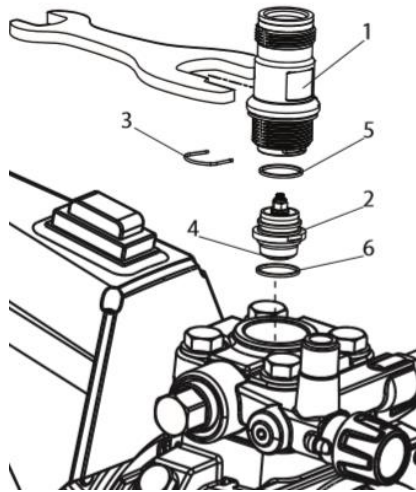
(この時リリースバルブはエア抜き循環  にして下さい。)

c. リターンホースから溶剤が出てきて、吸入口から吸い込んでいる音がしたら、もう少し溶剤を入れます。(手のひらで吸入力を確認めます)

d. 上記の方法で、溶剤が何度やっても吸い込まない場合は吸入弁に異物が詰まっています。



分解して除去します。





1. 付属のスパナ (30mm) をハウジング (1) にあてがいます。
2. スパナの先端をハンマーで軽く叩き、ハウジング (1) を外します。
3. ハウジングと吸入弁 (2) を塗料セクションから取り外します。
4. ドライバーを使ってクリップ (3) を抜き取ります。
5. スパナ (30mm) を吸入弁 (2) に当てがいます。スパナを回して吸入弁を慎重に取り出します。
6. 洗浄剤 (水または溶剤) とブラシを使ってバルブシート (4) を洗浄します。(ブラシの毛が付着しないように注意してください)
7. シール (5,6) を洗浄して損傷がないか点検し、必要に応じて交換します。
8. 弁の全部品を損傷がないか点検します。摩耗が確認されたら、吸入弁を取り替えます。

Q3 「エア抜き」はするが、圧力が上がらない

- ① リリーフバルブは吹付  になっていますか？
- ② リリーフバルブが吹付  になっているのにリターンホースから出ていませんか？
(リリーフバルブを交換して下さい)
- ③ 圧力調整は時計回りに廻していますか？
時計回りに廻して、止まった位置が「最大圧力」です。

Q4 圧力は上がるが、「エアレスガン」の引き金を引くと圧力低下が大きい

- ① ノズルチップが摩耗しているか、大きい物を取り付けていませんか？
小さいノズルチップに付け替えて下さい。
- ② 塗料粘度が高くないですか？また、十分攪拌しましたか？
少し、塗料を希釈をして下さい。
- ③ 塗料を攪拌する時、「気泡」が出ていませんか？
塗料の中に空気が入ると圧力低下になりやすくなります。
- ④ 塗料粘度が高い場合は、内径の大きい塗料ホースを使って下さい。

- ⑤ 吸入フィルターが目詰まりしていませんか？また、フィルターに「パンティストッキング」を付けていませんか？（パンティストッキングは塗料を「こす」時のみ使用して下さい。）

Q5 吹付作業時に圧力が「上がった」「下がった」して使えない

- ① 吸入ホースの取り付けが緩んでいませんか？
締め付けが弱いと空気が吸い込みます。付属の工具でしっかり締め付けて下さい。
- ② 吸入ホースが古くなって「ひび割れ」「折れ曲がって」いませんか？
- ③ 塗料の攪拌時に問題はありませんか？（Q4-②、③）

Q6 圧力は上がるが、「エアレスガン」から出てこない

- ① ノズルチップは詰まっていますか？
別のノズルチップに変えてみて下さい。
- ② ガンフィルターは詰まっていますか？
ノズルチップの口径にて使い分けします。（白、黄、青、赤、左からメッシュが粗い）
ガンフィルターの取り付け方向は決まっています。

Q7 吹付作業時「モーター」が停止する

- ① Q1、②、③を参照。
- ② 電源は、100V（15A）以上ありますか？
- ③ 炎天下で直接日光が当たり、換気の悪い狭い場所に置いていませんか？
- ④ 吹付圧力を少し下げてください。

各機種の適量オイル

表 1

機種	油圧オイル
F350	0.7L
F400L	1.9L
SF1500	1.1L
SF23	0.9L
SF27	0.9L
HERO23	1.3L